

# フルチャーシュ®

## ジャンボ



カルフェントラゾンエチル・フルセトスルフロン粒剤

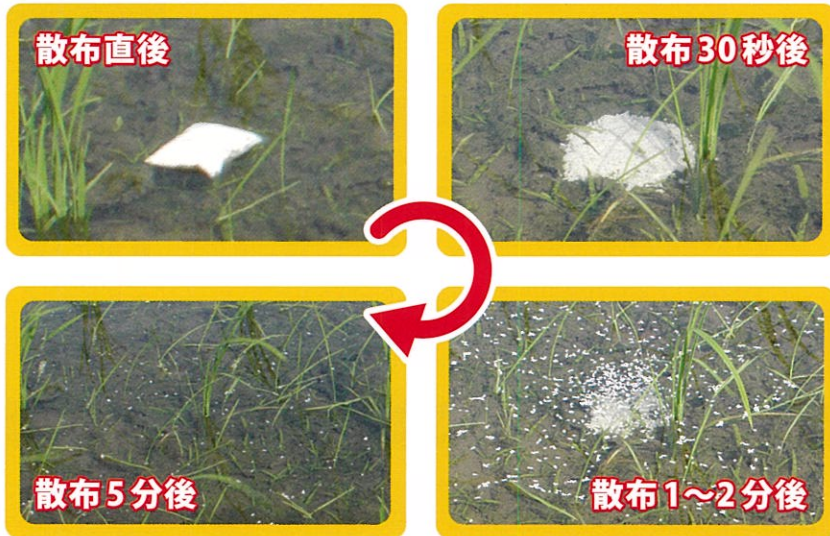
ノビエ4葉期まで使える  
2成分の除草剤

移植水稲でも  
直播水稲でも



チャージ一発  
蹴散らせ雑草!

※投入後、パックは速やかに崩壊し、一旦粒剤が水中に沈んだ後、拡散していきます。



### 特長

- ①すぐれた拡散性
- ②4葉期までのノビエにすぐれた効果
- ③SU抵抗性一年生広葉雑草にも有効
- ④ゆとりある散布適期
- ⑤環境への負荷が小さい

# フィルスター ジャンボ



有効成分:カルフェントラゾンエチル…1.8% フルセットスルフロ…0.44% 人畜毒性:普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)

## ■適用雑草と使用方法

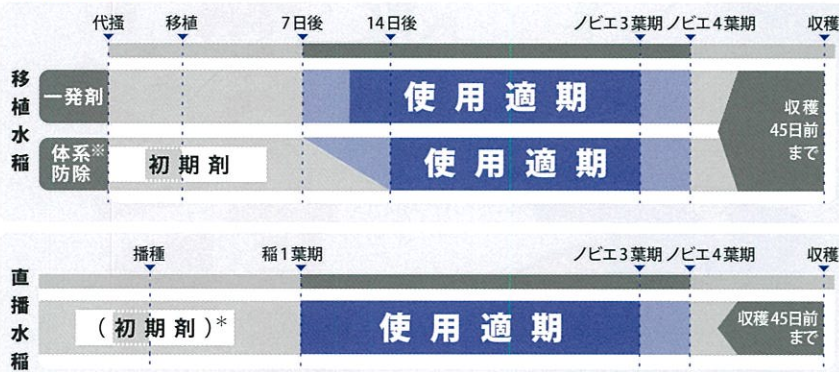
※本内容は平成28年8月24日付の登録内容に基づいています。

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り使用量	総使用回数*	使用方法
移植水稻	水田一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、 ヘラオモダカ、 ウリカワ、クログワイ、 オモダカ、 コウキヤガラ、 シズイ、 ヒルムシロ、セリ	移植後5日～ノビエ4葉期 但し収穫45日前まで	小包装(パック) 10個(500g)	本剤……………1回 カルフェントラゾンエチル……2回以内 フルセットスルフロ……2回以内	水田に小包装 (パック)のまま 投げ入れる
直播水稻	水田一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、 ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ4葉期 但し収穫45日前まで			

\*は本剤及び各有効成分を含む農業の総使用回数の制限を示す。

## ■上手な使い方

### ①使用例



\*必要に応じて、初期剤を使用してください。

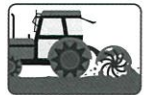
※地域、作型、気象条件、前処理剤の使用時期や残効期間により、雑草の発生状況は異なります。

■散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下することがあるので使用をさけてください。

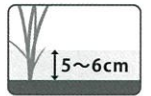
■SU抵抗性ホタルイには効果は期待できませんので、SU抵抗性ホタルイの多発している水田では有効な前処理剤との体系で使用してください。

### ②使用のポイント

■代掻き  
田面が均一になるよう、ていねいに代掻きをしてください。



■湛水深  
散布時は水の出入りを止めて、5～6cmの水深にしてください。



■浮遊物  
藻類・表層はく離などの浮遊物が多い条件下では、拡散が不十分となり部分的な効果不足や薬害が生じることがあるので、使用をさけてください。



■水管理  
散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(3～5cm)を保ち、田面を露出させないようにしてください。また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。

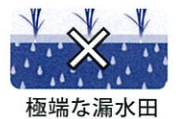


## ■使用上の注意事項

- 本剤は小包装(パック)のまま10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 本剤を移植水稻に使用する場合、使用時期はノビエの4葉期まで、直播水稻に使用する場合、使用時期は稲の1葉期からノビエの4葉期までなので、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。草種ごとの散布適期は下記の通りです。

雑草名	散布適期	
	移植水稻	直播水稻
ホタルイ		2葉期まで
ヘラオモダカ	4葉期まで	—
ウリカワ		2葉期まで
クログワイ	草丈10cmまで	
オモダカ	矢じり葉抽出前まで	—
コウキヤガラ	発生始期まで	
シズイ	草丈3cmまで	
ヒルムシロ	発生期まで	発生期まで
セリ	再生前～再生始期まで	再生前～再生始期まで
クサネム	2葉期まで	—

- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、生育段階によって効果にフレがあるので、有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。また、オモダカ、クログワイは有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することにより、さらに効果が向上します。
- 苗の植付けが均一となるように、代かきをていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので、使用をさけてください。
- 以下のような条件下では、薬害が発生するおそれがあるので、使用をさけてください。
  - 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)
  - 軟弱な苗を移植した水田
  - 極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田
  - 散布後低温傾向が続くことで稲の生育が著しく停滞すると予想される場合
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。
- 散布後数日間暑い高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 本剤はその殺草特性からいぐさ、れんこん、せり、くわい等の生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合には、十分注意してください。
- 本剤を散布した水田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除等関係機関の指導を受けるようにしてください。



軟弱苗を移植したとき、苗の活着が不十分となり

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

※本印刷物は平成28年9月時点での知見に基づいて作成しています。